
転落系男子ですがのし上がろうと思ひます

うい

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

転落系男子ですがのし上がろうと思います

【NNコード】

N8858Z

【作者名】

うい

【あらすじ】

不良でヤンキーな主人公、飯島健は、ある一通のメールを境いで、全てを失ってしまった。

のし上がる。復讐してやる。意地でも彼女を作つてやる!
転落した人生をバラ色に変えるべく、奮闘します

もともと軽落してこの

「んでやー、マジあたし鬱つちやつてんのねー」

「マジかよ。そりゃ鬱るわ、マジで」

俺こと飯島健いいじま たけしは不良でヤンキーだ。

今日は同じく不良で女友達の美奈と、マクロナルドでバカ笑いしている。

「もう最低でやー。彼氏のくせに、なんも分かつてないんだもーん
彼氏について、かなり長々と語られていて、俺は精神的にかなり
キていた。

そうだよ。彼女いねえよ。ヤンキーのクセして彼女いねーんだよ。
その自慢こしか聞こえない話を、出来るだけノリノリで返す。

2

「やっぱ男だかんなー。男はバカばっかりだし」

「だよねー。あ、そろそろ彼氏と待ち合わせの時間だ。行くねー」

「お、おお」

あれほど愚痴っていたのに、美奈は彼氏との待ち合わせと並つて、
すぐに店を飛び出していく。

彼女が帰ったあと、俺は一人で黙々とハンバーガーを食べていた。

「彼女ほしいなあ……」

夜のストリートを、“一人”で歩く。
友達ならいる。ヤンキー仲間だけ、だけどな。

ただの不良なら、そこらでナンパでもして一発誰かとやるんだろうけど、俺にはどうしても出来ない理由があった。

好きな女の子がいるからだ。

黒髪をサラリと垂らし、人畜無害な笑顔をして、誰にでも優しくしてくれる。

あの子が大好きだった。

とても俺の手には届かない存在だけど、彼女と話をしていくだけで幸せな気持ちになれる。

「はあ……帰る……」

金髪に染めて、耳にピアスしているのに、俺は不良になりきれない。

家に帰り、自室のベッドに寝転がる。

疲れたけど、いつもと変わらない一日だった。

今時期は、桜の散り始める五月の中旬だ。
地域によっては、すでに全て枯れていったり、逆に満開なのかもしれないが、

俺の住む街では、桜が虚しく散り、生え変わるまでのカウントダウンを始めていた。

そして、俺は高校一年生だ。まあ、遊んでばかりいたせいでギリギリだったが、なんとか進級できた。

今は新しい生活にウキウキし出す頃だらう。
かくいう俺も、ウキウキしていた。

そんな、平凡な日常だったはずなのに、ある一通のメールから、

俺は一気に転落してしまつのである。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8858z/>

転落系男子ですがのし上がろうと思います

2011年12月27日22時52分発行